

第243期
営業報告書
2017年4月1日～
2018年3月31日

16 SMILES report

じゅうろくスマイルズレポート

特集

海外ビジネスサポート

ハノイ駐在員事務所の開設



CMキャラクター
鵜飼 匠

未来を拓く

RELIABLE BANK!

次世代の
金融グループとして

十六銀行は
進化し続けます。

東海東京フィナンシャル・ホールディングスと 包括的業務提携に合意

～東海地域における新たな金融グループ戦略～

2018年3月、東海地域を地盤とする両社は包括的業務提携に合意しました。対等なビジネスパートナーとして相互に業務をサポートし、営業基盤の強化をはかるとともに、地域貢献に資する取組みを推進していきます。2019年度中にお互いの強みを融合した共同出資の証券会社を設立し、銀行と証券だけでなく次世代の金融グループとして、お客さまのニーズに合わせて多様で良質な商品・サービスを提供していきます。



豊田市内で2店舗目となる山之手支店OPEN

～愛知県内の地方銀行でクイックカウンターを初めて導入～

2018年3月、山之手支店をオープンしました。クイックカウンターに営業時間中の現金を集約して、営業終了後の集計作業を大幅に削減したことにより、通常の半分以下の少人数運営ながら、営業時間延長や日曜日営業を実現しました。業務効率化をはかりながら、お客さまとの接点を一層ふやして、ワンストップでご相談いただける新しいスタイルの店舗を運営していきます。



トップメッセージ TOP MESSAGE

私たちは、「エンゲージメント1st」の取組みを一層強化し、「お客さまから必要とされ、お客さまとともに成長する金融グループ」を目指して進化し続けます。

平素より十六銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。ここに、当行の営業の概況や2018年3月期決算の状況を皆さまにご理解いただくため、ミニディスクロージャー誌を発刊いたしました。地域金融機関を取り巻く環境をみますと、低金利環境の長期化など厳しい経営環境が続いております。また、地域経済は人口減少や少子高齢化の進展という構造的な課題を抱えており、将来的な市場規模の縮小が懸念されております。こうした状況を背景として、地域金融機関には、お客さまの成長をサポートすることにより、地域経済の活性化・発展に寄与していくことが強く求められております。かかる課題に対処するため、当行は2017年4月より、「第14次中期経営計画」All For Your Smile こころにひびくサービスを～2nd Stage～を開始しており、「お客さまから必要とされ、お客さまとともに成長する金融グループ」を目指し、「エンゲージメント1st」を行動軸として、お客さまおよび地域経済の成長への貢献と、地域を支えるための安定性・永続性のある収益構造が好循環するビジネスモデルへの変革をはかっております。

こうした転換期にある中、多様化するお客さまのニーズや急激に変化するビジネス環境に合わせたスピーディな営業変革に努めるとともに、従前より取り組んでまいりました業務改革を一層推し進め、「お客さま本位」の良質なサービスを提供することにより、将来にわたりお客さまから頼りにしていただける銀行であり続けるよう、一層の企業価値の向上に邁進してまいり所存であります。皆さまにおかれましては、今後とも引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。



取締役頭取 村瀬幸雄

2018年6月

基本方針

十六銀行は金融機関としての公共的使命を遂行することによって地域社会に奉仕する。

十六銀行は広い視野に立ち、つねに合理性を貫き堅実な経営により発展をはかる。

十六銀行はすべての職員が安定した生活ができるよう努力する。

経営方針

●頼りにしていただける銀行 ●充実した銀行 ●行動する銀行

当行の概要

創業	明治10年10月	営業拠点数	・本支店 149か所
本店所在地	岐阜市	・出張所 12か所	・付随業務取扱事務所 1か所
資本金	368億円	・ローンサービスセンター 17か所	・海外駐在員事務所 4か所 (上海・シンガポール・バンコク・ハノイ)
従業員数	3,192人	・店舗外ATM	262か所
預金等残高 ※譲渡性預金含む	5兆5,237億円		
貸出金残高	4兆2,335億円		

(2018年3月31日現在)

十六銀行グループのご紹介

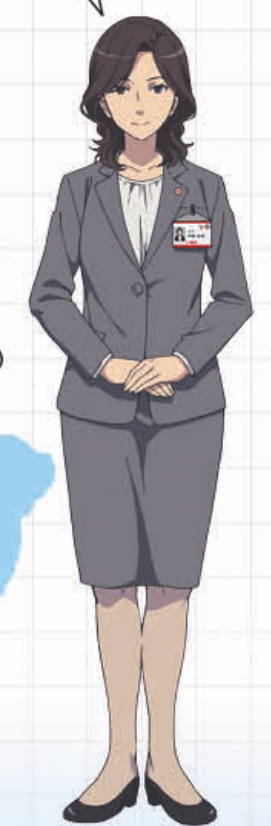
- ▶ 十六ビジネスサービス(株) 事務受託業務
- ▶ (株)十六総合研究所 経営相談業務、調査・研究業務
- ▶ (株)十六カード クレジットカード業務
- ▶ 十六リース(株) リース業務、ベンチャーキャピタル業務
- ▶ 十六コンピュータサービス(株) コンピュータ関連業務
- ▶ 十六信用保証(株) 信用保証業務

特集 十六銀行の 海外ビジネスサポート

(2018年3月31日現在)



十六銀行は、皆さまの海外事業展開を支援いたします。



ハノイ駐在員事務所の開設

～地方銀行で初めてハノイ市で業務開始～

アジア新興市場の拡大により、お取引先さまの海外販路開拓・海外現地生産への取組みが広がっているなか、当行は、2018年3月に、地方銀行で初めて「ハノイ駐在員事務所」を開設しました。ベトナムは、その勤勉な国民性や若くて優秀な労働力が豊富であるとともに、日系企業向けの工業団地などのインフラ開発が進み、良好な投資環境が整備されていることから、現在、150社ほどの当行お取引先さまがベトナムに進出しています。特に、北部の首都ハノイは近年の経済発展が著しく中国や日本からも近いことから、今後も地元企業さまの進出が続くと予想しています。これまで、ベトナム投資開発銀行への行員派遣やハナム省との業務提携などによって、積極的に進出支援を行ってまいりましたが、現地での業務提携先や協力先との連携を一層深めていくため、駐在員事務所として業務を開始しました。4駐在員事務所、11ヶ国にまたがる15の提携金融機関による海外サポート体制により、お取引先さまと海外とを結びつける取組みを一層強化していきます。

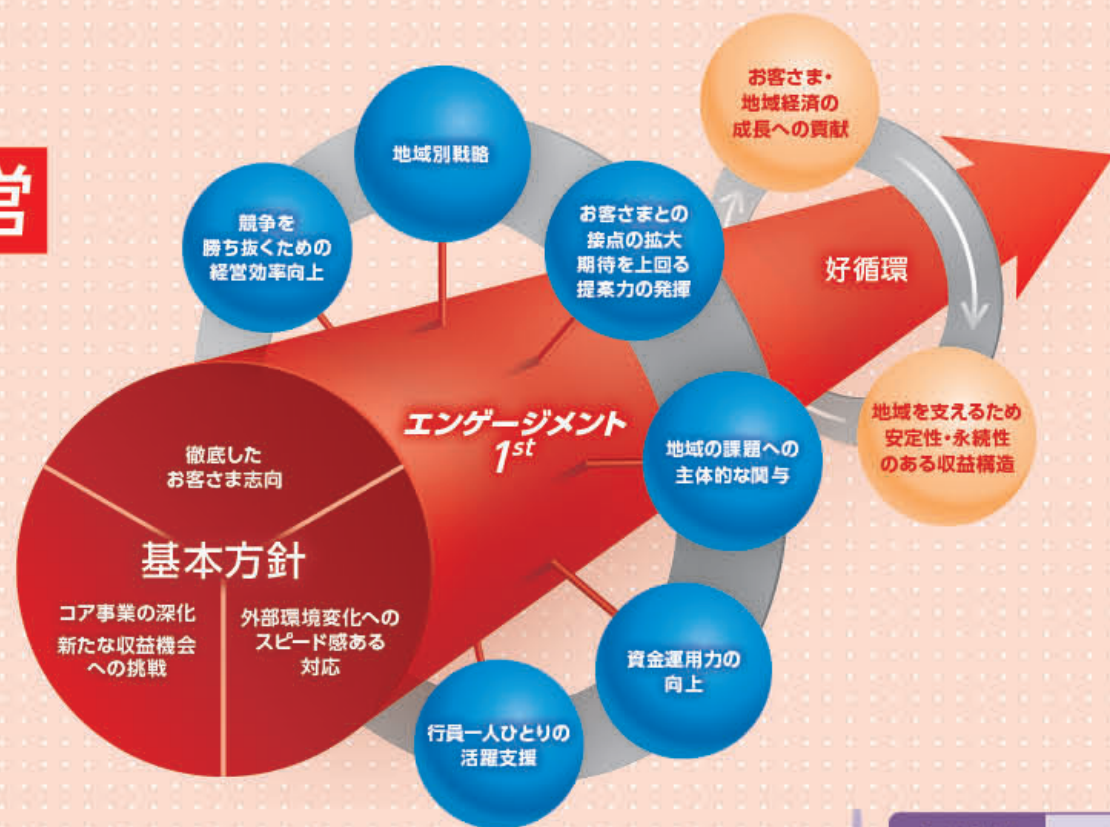


第14次 中期経営 計画

All For Your Smile

ここにひびくサービスを

2nd Stage



Juroku Group

長期ビジョン
お客さまから必要とされ、お客さまとともに成長する金融グループ

2017年4月より、2017年度から2019年度までの3か年を計画期間とする「第14次中期経営計画」All For Your Smile こころにひびくサービスを～2nd Stage～をスタートさせました。本計画で当行は、「エンゲージメント1st」によってお客さまとの強固な信頼関係を築きあげることが最優先の行動軸とし、6つの基本戦略である「お客さまとの接点の拡大および期待を上回る提案力の発揮」、「地域の課題への主体的な関与」、「地域別戦略」、「資金運用力の向上」、「競争を勝ち抜くための経営効率向上」、「行員一人ひとりの活躍支援」に取り組むことで、「お客さまおよび地域経済の成長への貢献」と「地域を支えるため安定性・永続性のある収益構造」が好循環するビジネスモデルへの変革をはかっていきます。こうした取組みを通じて、「お客さまから必要とされ、お客さまとともに成長する金融グループ」を目指してまいります。

計数目標

収益性	当期純利益(連結)	最終年度 100億円
成長性	地域プレゼンス (預金等平残+貸出金平残)	最終年度 10兆円
健全性	自己資本比率(連結) (完全実施ベース)	最終年度末 8.7%程度
収益性	ROE(連結)	5%以上

●長期的に目指す指標

「インドネシア ビジネス交流会 in ジャカルタ 2017」の開催

2017年7月、インドネシア・ジャカルタにおいて、常陽銀行、百十四銀行、南都銀行、山口フィナンシャルグループと合同で「インドネシアビジネス交流会 in ジャカルタ 2017」を開催しました。同参加行主催の海外ビジネス交流会は、一昨年7月の中国・青島に続き4回目となります。第一部のセミナーでは「税務・会計面における押さえるべきポイント」などをテーマとした講演会を開きました。第二部の交流会ではインドネシアに進出している各行のお取引先さま同士の活発な情報交換の場となりました。



「香港「Food Expo 2017」への出展支援

～アジア最大級の食品見本市での出展サポート～

2017年8月、香港貿易発展局の主催による「Food Expo 2017」が香港で開催されました。今回は、岐阜県産業経済振興センターや海外ビジネス支援で連携する地方銀行3行と共同で出展ブースの確保や出展料の半額補助、出展企業の商品をPRするパンフレットの調整・配布などにおいて出展企業さまをサポートしました。また、Food Expo会場内の特設ステージでは、出展企業の一社である株式会社GIFUSHO(岐阜県立岐阜商業高等学校の全生徒が出資する企業)の従業員(同校の生徒)がプレゼンターを務め、岐阜県の名産品である鮎や鮎菓子、柿などについてPRしました。



「グローバル市場開拓 サポートプログラム」の開催

～官民が一体となり海外販路開拓等を支援～

2017年9月から11月にかけて、日本貿易振興機構(ジェトロ)岐阜貿易情報センターとの共催により、「グローバル市場開拓サポートプログラム」を開催しました。3回にわたり行った同プログラムでは、ワークショップ形式にてASEAN市場の動向や中堅・中小企業の海外展開における戦略策定およびプランニング構築のポイント、高度人材採用等に関する取組みなどを解説しました。また、希望企業さまには個別相談会を実施しました。当行では、今後も幅広い機関と連携をはかりながら、地元企業の輸出戦略や海外販路開拓などの海外ビジネスサポート強化に努めていきます。





未来を拓く

次世代の金融グループとして十六銀行は進化し続けます。

RELIABLE BANK!



地域経済のために

様々な切り口で観光振興や販路拡大支援など地域活性化に貢献していきます。

地酒ツーリズムの取組み



2017年8月、当行は「Chance地銀共同化行」に参加する、めぶきフィナンシャルグループ(常陽銀行、足利銀行)、百十四銀行、南都銀行、および山口フィナンシャルグループとともに、「地酒」をテーマとした観光振興を目的に「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」に入会しました。当協議会への金融機関の参加は初であり、今後、地酒を切り口とした地域資源の情報発信等を実施していきます。また、当行独自の取組みとして、2018年6月から長良川流域を対象とした「地酒ツーリズム事業」を開始しました。流域の酒蔵めぐりやバルチケット事業を企画・開催しながら、当エリアの交流人口・域内消費額の拡大を目指します。当行は、今後も地域資源のプロモーションに積極的に関与し、様々な面から地方創生に貢献していきます。

機能サービスの拡充

アプリによる決済や口座開設など新サービスを次々と展開しています。

女性活躍に向けた取組み

女性が輝ける職場づくりへさらなる進化を目指しています。

「岐阜大学×十六銀行×NEXCO中日本 地域商材発掘プロジェクト」の取組みが内閣府より表彰受賞

2018年2月、当行と岐阜大学、NEXCO中日本との連携事業である「岐阜大学×十六銀行×NEXCO中日本 地域商材発掘プロジェクト」の取組みが、内閣府から、2017年度「地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」として表彰されました。当プロジェクトでは、商談会を通じて地域性の高い商材を発掘し、高速道路のサービスエリアを利用する消費者への販路を開拓する機会を創出しました。さらに、単に商談会を開催するのみではなく、商談会参加事業者への事前フォローとして、大学生と事業者とのワークショップを開催し、若者の意見を取り入れて商品の企画や提案方法をブラッシュアップする場を設けました。当行では今後もこうした取組みを実施することにより、引き続き、地方創生に貢献していきます。



十六総合研究所「飛騨国サテライト」を新設

2017年9月、当行のシンクタンクである十六総合研究所は、高山市が開設した「飛騨高山お試しサテライトオフィス」に入所し、主任研究員1名を配置しました。飛騨地域は観光産業で世界的に注目される一方で、人口減少が比較的早く進む課題先進地域であり、飛騨から見える地方の課題を捉え、今後の調査分析や地方創生への提言に生かしていきます。



2017年12月「人手不足対策セミナー@高山」を開催

2018年3月、書籍「地域のチカラ 16seeds story」を発売

地域の魅力を美しい数々の写真とともに紹介。北川悦史氏など岐阜県・愛知県出身の著名な方々のエッセイも掲載しています。



地域商材の発掘や創業支援など幅広い分野から地方創生に貢献していくとともに、次代のニーズを見据えた機能サービスの拡充、女性活躍に向けた取組みも推進。お客さまの成長をサポートする「信頼できる、頼れる銀行」を目指して、十六銀行はこれからも着実に歩み続けてまいります。

「地方銀行フードセレクション2017」の開催

2017年11月、当行を含む地方銀行55行とリッキービジネスソリューション(株)が「地方銀行フードセレクション2017」を開催しました。こだわりの逸品や地元特産品を取り扱う食品関連事業者の全国に向けた販路拡大支援を目的に開催したもので、出展社数は過去最高の831社と大盛況の商談会となりました。当行からの出展社は、平均名刺交換枚数が101枚と多くのバイヤーと商談することができ、総じて高い満足度を得られました。今後も、このような取組みにより、地域の食品産業の発展をサポートしていきます。



「NOBUNAGA21 地域経済活性化セミナー」の開催

2018年3月、ベンチャー企業、起業家の発掘・育成を通じ、地域経済活性化・発展に貢献することを目的として開催しました。本セミナーでは創業者向け助成金「NOBUNAGAファーストステージ」と新規事業向け「ニュービジネスプラン助成金」の授賞式を開催しました。また、株式会社岐阜造園代表取締役社長小栗達弘氏を講師に迎え、講演を行いました。



～地方創生への取組み～ 各自治体、商会議所・商工会と連携協定を締結

当行は、金融機関の特性や強みを活かした官民連携を強化することにより、更なる地域経済活性化の実効性を高める取組みを行ってまいります。2018年3月末現在の連携協定数は、自治体29先、商会議所・商工会26先となり、様々な地域課題に対して相互に連携協力することで、地域の活性化に貢献していきます。



じゅうろくCSR私募債「つながるこころ」について

じゅうろくCSR私募債「つながるこころ」については、2017年1月の取扱開始以降、2018年3月までの1年3ヶ月間で累計245件(発行累計額162億円)の引き受けを行いました。この私募債は、当行が発行企業さまから受け取る手数料の一部(発行金額の0.2%相当額)を地域の学校等に発行企業さまと連名で物品や金銭を寄贈し、地域社会を応援する仕組みとなっています。今後も、じゅうろくCSR私募債「つながるこころ」の取扱いを通じて、より一層地域貢献に努めていきます。



口座開設アプリ

2018年3月、運転免許証とスマートフォンがあれば、時間も場所も気にすることなく、普通預金口座が申込みできるスマートフォンアプリ「口座開設アプリ」の取扱いを開始しました。「口座開設アプリ」は、スマートフォンで運転免許証を撮影し、お客さま情報を入力・送信することで、書類をやりとりすることなく普通預金口座の申込みが完了します。また、個人インターネットバンキング「Jダイレクト」や「じゅうろくJCBデビット」といった便利なサービスも普通預金口座と同時に申し込むことができます。



じゅうろくJCBデビット

2018年4月、じゅうろくJCBデビットの取扱いを開始しました。じゅうろくJCBデビットは、国内外のお店やネットショッピングでの決済でご利用いただけるカードで、口座から即時引落しされるのが特徴です。当行では、じゅうろくJCBデビットを幅広いお客さまにご利用いただくことで、キャッシュレス社会の進展に対応していきます。

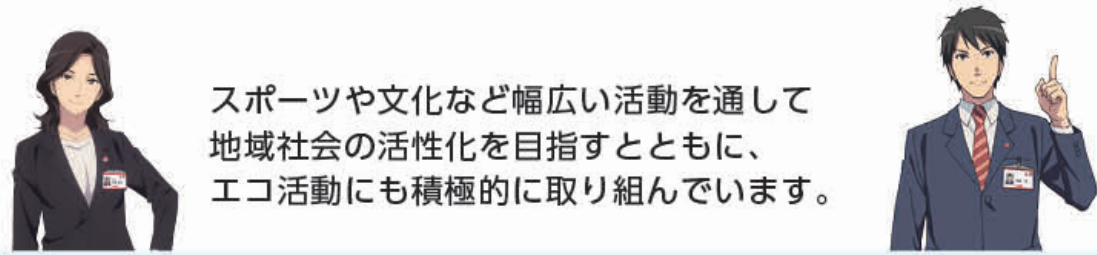


女性の活躍も2nd Stageへ。いきいきと働く女性を応援しています!

女性活躍推進を目的とした「輝けなでしこ☆プロジェクト」の提言を受けて、2017年4月までに16項目の制度を導入しました。これを受け、東海三県の地銀で初の設置となった企業内保育施設「じゅうろくスマイルルーム」は、オープンから約2年間で27名の行員が利用しています。また、男性の育児参加を目的として2017年4月に導入した「配偶者出産休暇」の取得率は94.3%となっています。加えて、2018年4月には3名の女性を営業拠点長に登用したことにより、合計12名の女性拠点長が活躍しています。制度の導入から、利用者の普及へ。そして、女性リーダーへの積極的登用へ。当行の女性活躍推進に向けた取組みは2nd Stageへと移行して、更なる進化を目指しています。



十六銀行のCSR



スポーツや文化など幅広い活動を通して
地域社会の活性化を目指すとともに、
エコ活動にも積極的に取り組んでいます。

地域社会のために

卓球部の活躍

～地域の皆さまに愛されるチーム作りを目指して～

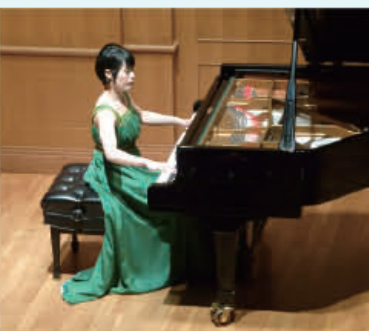
当行卓球部は1980年創部以来、皆さまの温かいご支援のもと地道な努力を重ね、日本卓球リーグ実業団連盟に加盟し、女子1部チームとして活躍しています。



2017年11月に開催された「後期日本卓球リーグ」で3位に入賞、2018年4月に開催された「日本卓球リーグ・ビッグトーナメント」で松澤茉莉奈選手がシングルスで優勝するなど好成績を収めました。競技活動と併せて、地域主催の卓球教室などに積極的に参加し、卓球競技の普及・レベル向上にも努めています。

公益財団法人十六地域振興財団による地域貢献活動

「クララザールじゅうろく音楽堂」は開館3年目となりました。2017年度は当財団主催によるコンサート5回開催、2018年3月にはクララザールにゆかりのある世界的なピアニスト、上原彰子さんのコンサートを開催しました。また音楽堂ホールでの貸し出しも40組を超えるご利用をいただきました。これからも芸術・文化をとおして、地域のみなさまのご期待にお応えしていきます。



「じゅうろくプロムナードコンサート2017」の開催

2017年11月、地域の皆さまに芸術・文化に触れていただく機会を提供することを目的として、長良川国際会議場にて開催しました。21回目となる本コンサートには、応募総数約2,500通の中から500組1,000名さまをご招待し、東海地区を代表するオーケストラ「名古屋フィルハーモニー交響楽団」と、指揮者 広上 淳一氏、ヴァイオリニストに 南 紫音氏を迎え、迫力ある演奏をお楽しみいただきました。



「全国エンタメまつり(通称ぜんため)への協力(全国初開催)」

2017年8月5日と6日の2日間に亘って、岐阜市・柳ヶ瀬とその周辺において開催された「全国エンタメまつり(通称ぜんため)」に対し、当行はメインスポンサーとして協力・協賛を行いました。日本を代表する有名ゲームメーカーなど約40社が参加し、コアなファンはもちろんのこと、一般の方でも楽しめるイベントとして、新作ゲームの試遊・対戦ゲーム大会・グッズ販売などが催されました。このような規模のイベントとしては地方初の試みとなるなか、柳ヶ瀬周辺は若者であふれ開催2日間の来場者は約2万5千人を数えるなど、大変な賑わいとなりました。当行は今後も、地域金融機関として「まちづくり」においては地域活性化に資する取組みを続けていきます。



地球環境のために

～行政との協働による森林づくり～

「じゅうろくの森“みたけ”」森林づくり協定を締結

2017年9月、御嵩町、岐阜県との協働で森林づくりの活動に取り組みことで一致し、岐阜県および御嵩町と、「じゅうろくの森“みたけ”」森林づくりの協定を締結しました。また、2017年11月、「じゅうろくの森“みたけ”」にて、活動開始記念イベントとして「看板除幕式」および「森林整備事業」を行いました。当行は、今後も豊かな自然を残し、社会貢献活動の一環として、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



<森林づくり協定の概要>

締結日	2017年9月27日(水)
場所	御嵩町中切地内(御嵩町有林)
面積	6.71ヘクタール
森の名前	じゅうろくの森“みたけ”
協定期間	2017年9月27日～2023年3月31日
活動内容	森林整備(間伐、下刈り、除木など)、遊歩道整備、環境学習(自然観察会)等

～木育推進への取組み～

岐阜県と「恵みの森林づくり・ぎふ木育推進に向けた包括協定」を締結しました

2018年2月、岐阜県と「恵みの森林づくり・ぎふ木育推進に向けた包括協定」を締結しました。当行は、岐阜県と連携・協力して「恵みの森林づくり」「ぎふ木育」推進活動に協働で取り組むことで地域への貢献活動や、地方創生に取り組んでいきます。



また、同日、当行創立140周年記念行事として、「(仮称)木のふれあい館」整備および導入備品購入に対し、金1千万円を贈呈しました。寄附金は館内の木製遊具や図書等の備品整備に利用されます。

「エコにつながる種まきプロジェクト」《環境保全活動》の展開

当行は、岐阜大学、岐阜市地球温暖化対策推進委員会と連携して、2014年5月より「エコにつながる種まきプロジェクト」を展開してきました。今年度は、昨年度にお客さまが咲かせて採取したあさがおの約40,000粒の種をお送りいただき、これを岐阜市内の37店舗で配布するとともに、岐阜市内の小学校や特別支援学校にご協力いただき、各校へあさがおの種を配布しました。

エコ活動啓発ポスターコンクール

エコ活動で、地球環境を守りましょう!

岐阜大学教育学部附属小中学校のみんなが描いてくれた素敵なポスターを載せてエコ活動への参加を呼びかけました!



環境方針

基本理念

十六銀行グループは、環境保全への取組みを社会全体で果たすべき責務であると認識し、地域社会に奉仕する良き企業市民の責任として、事業活動を通じて環境問題に誠実に取り組むことで、持続可能な社会の形成に貢献するとともに企業価値の創造につなげます。

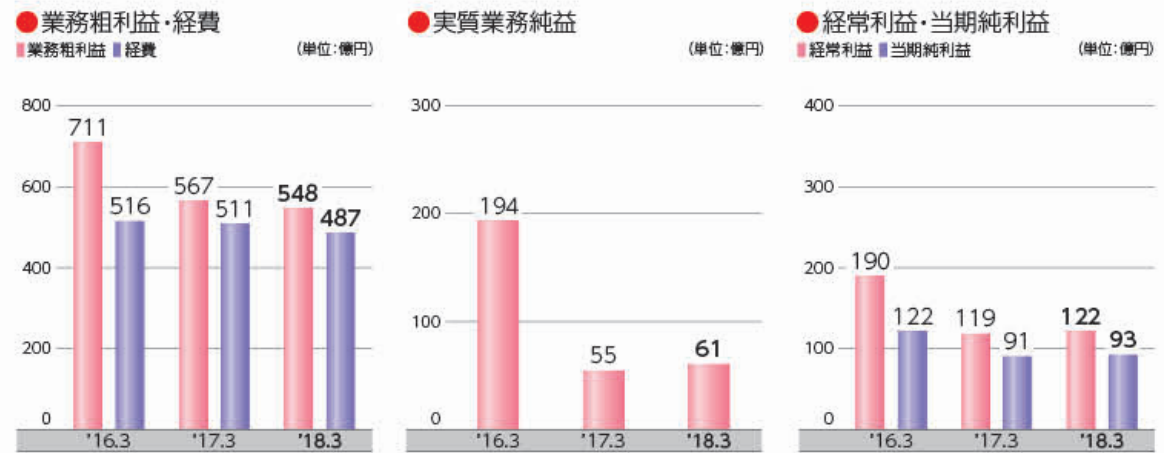
行動指針

- 1 環境関連の法律、規則、協定等を遵守します。
- 2 環境保全への取組みは経営課題のひとつであると認識し、活動の情報開示に努めます。
- 3 自らの企業活動による環境への影響を正しく捉え、省エネルギー・省資源等の環境負担の軽減に努めます。
- 4 環境に配慮した金融商品・サービスの開発・提供を通じ、お客さまの環境保全の取組みを支援します。
- 5 長期的な視野に立ち、幅広く社会と連携・協力し社会貢献活動を推進します。
- 6 従業員一人ひとりの環境意識の向上をはかるため、啓発・教育を行います。

業績ハイライト

2018年3月期の決算

経常利益は、役員取引等利益が増加したことなどから、前期比3億円増加の122億円となりました。当期純利益は、前期比2億円増加の93億円となりました。



貸出金の状況

2018年3月末の貸出金残高は、中小企業向け貸出金および住宅ローンが増加したことから、前期比1,931億円増加の4兆2,335億円となりました。住宅ローンなどを含む消費者ローン残高は、前期比1,534億円増加の1兆7,222億円となりました。



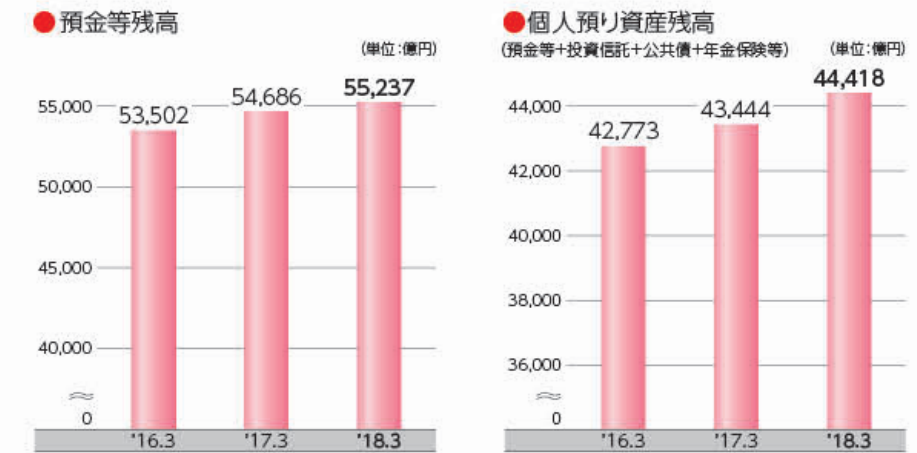
有価証券の評価損益

2018年3月末の有価証券評価損益は+736億円となりました。

株式	評価損益		
	評価益	評価損	
745	762	17	
債券	50	61	11
	△59	12	71
その他	△59	12	71
合計	736	836	100

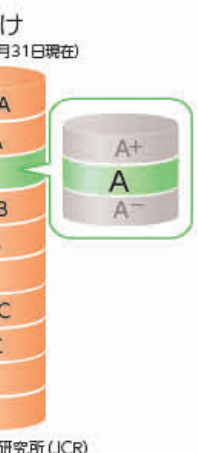
預金等の状況

2018年3月末の預金等残高は、個人預金の増加を主因に、前期比551億円増加の5兆5,237億円となりました。個人預り資産残高は、個人預り資産および個人年金保険等の増加を主因に、前期比974億円増加の4兆4,418億円となりました。



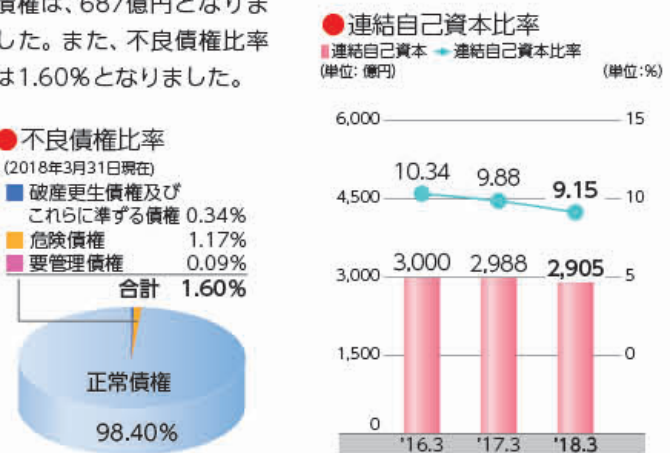
格付け

当行は、日本格付研究所(JCR)から「A」格付けを取得しています。



不良債権の状況

「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律(金融再生法)」に基づく開示債権は、687億円となりました。また、不良債権比率は1.60%となりました。



連結自己資本比率

2018年3月末の連結自己資本比率は9.15%となり、国内基準の4%を十分に上回っています。



財務諸表(連結)

連結貸借対照表	
(2018年3月31日現在)	
(単位:百万円)	
科目	金額
(資産の部)	
現金預け金	344,411
コールローン及び買入手形	1,000
商品有価証券	530
金銭の信託	7,011
有価証券	1,300,662
貸出金	4,215,431
外国為替	8,496
リース債権及びリース投資資産	51,499
その他資産	96,491
有形固定資産	65,663
無形固定資産	8,235
退職給付に係る資産	3,524
繰延税金資産	567
支払引見返	18,221
貸倒引当金	△ 25,178
(負債の部)	
預金	5,442,974
繰延預金	49,600
売現先勘定	98,873
借入金	47,774
外国為替	880
その他負債	46,662
賞与引当金	1,612
役員賞与引当金	24
退職給付に係る負債	6,703
役員退職慰労引当金	6
繰延税金負債	891
偶発損失引当金	721
再評価に係る繰延税金負債	7,324
支払承諾	18,221
負債の部合計	5,735,315
(純資産の部)	
資本金	36,839
資本剰余金	48,281
利益剰余金	192,824
自己株式	△ 1,573
株主資本合計	276,371
その他有価証券評価差額金	52,722
土地再評価差額金	14,489
退職給付に係る調整累計額	△ 467
その他の包括利益累計額	66,744
新株予約権	129
非支配株主持分	18,006
純資産の部合計	361,252
資産の部合計	
6,096,568	負債及び純資産の部合計
6,096,568	

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表(単体)

貸借対照表	
(2018年3月31日現在)	
(単位:百万円)	
科目	金額
(資産の部)	
現金預け金	344,313
コールローン	1,000
商品有価証券	530
金銭の信託	7,011
有価証券	1,304,633
貸出金	4,233,504
外国為替	8,496
その他資産	71,839
有形固定資産	61,063
無形固定資産	8,081
前払年金費用	3,866
支払引見返	17,954
貸倒引当金	△ 22,544
(負債の部)	
預金	5,454,117
繰延預金	69,600
売現先勘定	98,873
借入金	21,898
外国為替	880
その他負債	17,499
賞与引当金	1,411
退職給付引当金	6,254
繰延税金負債	891
偶発損失引当金	548
繰延税金負債	13,112
再評価に係る繰延税金負債	7,324
支払承諾	17,954
負債の部合計	5,710,368
(純資産の部)	
資本金	36,839
資本剰余金	47,827
利益剰余金	179,452
自己株式	△ 1,573
株主資本合計	262,545
その他有価証券評価差額金	52,217
土地再評価差額金	14,489
評価・換算差額等合計	66,707
新株予約権	129
純資産の部合計	329,382
資産の部合計	
6,039,751	負債及び純資産の部合計
6,039,751	

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書	
(2017年4月1日から2018年3月31日まで)	
(単位:百万円)	
科目	金額
経常収益	78,566
資金運用収益	51,656
(うち貸出金利)	39,788
(うち有価証券利息)	11,482
役員取引等収益	14,834
その他業務収益	3,109
その他経常収益	8,966
経常費用	66,340
資金調達費用	2,983
(うち預金利息)	1,495
役員取引等費用	6,358
その他業務費用	5,359
営業経費	50,115
その他経常費用	1,521
経常利益	12,226
特別損失	320
税引前当期純利益	11,905
法人税、住民税及び事業税	3,359
法人税等調整額	△ 786
法人税等合計	2,572
当期純利益	9,333

詳細の財務情報は、十六銀行のホームページで公開しています。
http://www.juroku.co.jp/ir/investors/kessan.html



地域の皆さまと ともに

地域の皆さまのお取引状況

十六銀行は、岐阜県・愛知県を主要な地盤とする地域金融機関として、地域経済の活性化に積極的に取り組み、豊かで住みよい地域社会の実現に貢献したいと考えています。

(2018年3月31日現在)

地域の皆さまへの貸出の状況

■ 岐阜・愛知県内での貸出金残高割合 (岐阜・愛知県内での貸出金残高/貸出金残高)

岐阜・愛知県内での
貸出金残高 3兆7,540億円 貸出金残高 4兆2,335億円



■ 岐阜・愛知県内での貸出先数割合 (岐阜・愛知県内での貸出先数/貸出先数)

岐阜・愛知県内での
貸出先数 161,432先 貸出先数 162,339先



貸出金残高に占める岐阜・愛知県内での貸出金残高割合88.6%、貸出先数に占める岐阜・愛知県内での貸出先数割合は99.4%です。今後も引き続き、地域経済の発展に貢献できる金融機関を目指します。

中小企業等に対する貸出の状況

■ 中小企業等貸出金残高割合 (中小企業等貸出金残高/貸出金残高)

中小企業等
貸出金残高 3兆2,638億円 貸出金残高 4兆2,335億円



地域の皆さまからのお預入の状況

■ 岐阜・愛知県内での預金等残高割合 (岐阜・愛知県内での預金等残高/預金等残高)

岐阜・愛知県内での
預金等残高 5兆4,836億円 預金等残高 5兆5,237億円



2018年3月31日時点での預金等残高5兆5,237億円のうち、岐阜・愛知県内での預金等残高は5兆4,836億円で、99.2%を占めています。

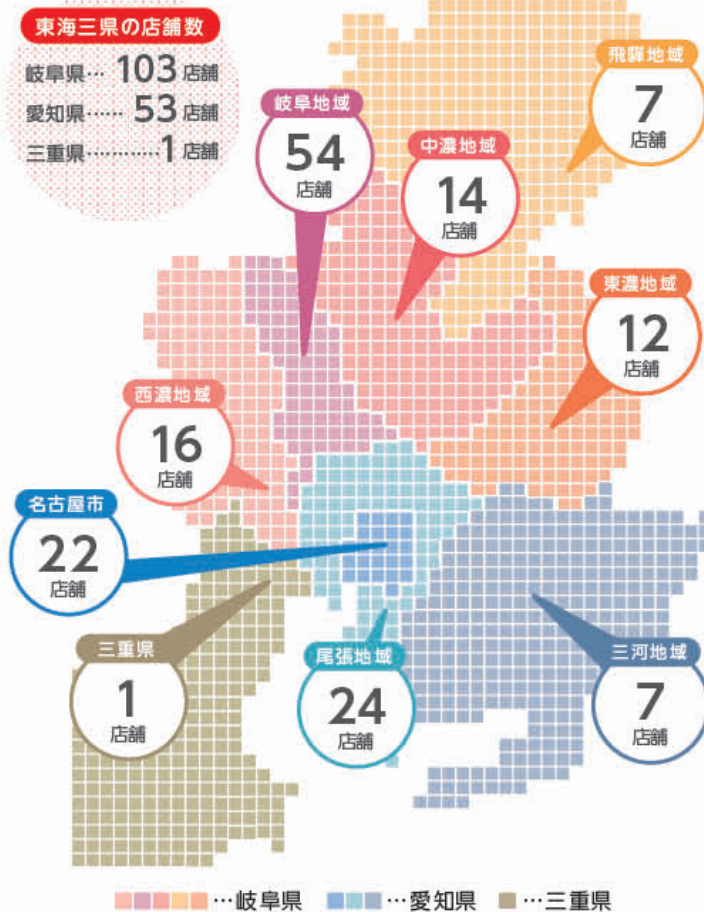
※預金等には譲渡性預金を含みます。



いつも「身近」に ますます「便利」に

十六銀行の店舗ネットワーク

当行は、岐阜県・愛知県を中心に国内162店舗と海外駐在員事務所を有し、お客さまの利便性向上のために、広域な店舗ネットワークを展開しています。(2018年3月31日現在)



その他の地域

- 東京支店 ●大阪支店 ●仮想店舗(3店舗) ●上海駐在員事務所
- シンガポール駐在員事務所 ●バンコク駐在員事務所 ●ハノイ駐在員事務所

株式についてのご案内



株式事務のご案内

決算日

毎年3月31日に決算を行います。

定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

配当金

期末配当は、毎年3月31日を基準日として、定時株主総会終了後、ご指定の方法によりお支払いいたします。中間配当については、毎年9月30日を基準日として、同様の方法によりお支払いいたします。

基準日

定時株主総会については毎年3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

公告方法

電子公告といたします。
インターネットホームページ
<http://www.juroku.co.jp/>

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞および岐阜市において発行する岐阜新聞に掲載して行います。

株式事務取扱場所

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

お問い合わせ先・郵便物送付先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
電話：0120-232-711 (通話料無料)

株式に関するお手続きの窓口について

- 住所変更、配当金受取方法の指定、単元未満株式の買増・買取、その他各種お手続き
●特別口座に記録された株主さま
特別口座の口座管理機関である上記三菱UFJ信託銀行
●証券会社等の口座に株式をお持ちの株主さま
口座を開設されている証券会社等
- 未受領の配当金のお支払い
株主名簿管理人である上記三菱UFJ信託銀行本支店

株式の状況 (2018年3月31日現在)

資本金

36,839,102,011円

発行済株式の総数

37,924,134株

株主数

18,844名

1単元(100株)に満たない 株式をお持ちの株主さまへ

「単元未満株式の買増請求制度」と「単元未満株式の買取請求制度」のいずれかをご利用いただけます。

「買増請求」「買取請求」に伴う手数料は無料としています。(ただし、証券会社でのお手続きの場合には、別途手数料が必要となる場合があります。詳しくは、お取引の証券会社にご確認ください。)

- いずれも口座を開設されている証券会社等(特別口座に記録された株式については三菱UFJ信託銀行)において、お受けしております。
- 買増請求につきましては、毎年3月31日および9月30日のそれぞれ10営業日前から当該日までの期間は受付を停止いたします。(注)2017年10月1日より、単元株式数は100株となりました。



いつでもお得&どこでも便利

ATMネットワーク

お客さまの「いつでもどこでもATMを使いたい」の声をかたちに。いつでもどこでも使えるATMネットワークが広がりました。これからもお客さまの声を大切に、ATMの利便性向上に努めていきます。

365日いつでも
どこでも使えるATM

十六銀行のATMはもちろん、セブン銀行、net、ローソンATM、イオン銀行のATMをご利用いただけます。

主なサービス内容
お引出し/お振込み/お預入れ/残高照会

※セブン銀行・イーネット・ローソンATMではお振込みをご利用いただけません。
※イオン銀行のATMではお預入れをご利用いただけません。
※手数料などの詳細につきましては、当行ホームページ等をご参照ください。

日本中どこからでもお取引!
ゆうちょ銀行のATM

全国のゆうちょ銀行のATMをご利用いただけます。

サービス内容
お引出し/お預入れ/残高照会

※手数料などの詳細につきましては、当行ホームページ等をご参照ください。

お近くの金融機関でお取引!
無料提携金融機関のATM

下記の無料提携金融機関のATMなら、平日時間内はご利用手数料無料(他行利用手数料無料)でご利用いただけます。

三菱UFJ銀行・名古屋銀行・愛知銀行・百五銀行・中京銀行・岐阜信用金庫・大垣西濃信用金庫・高山信用金庫・東濃信用金庫・関信信用金庫・八幡信用金庫・岐阜商工信用組合・飛騨信用組合・益田信用組合・岐阜県下JA

サービス内容
お引出し/お振込み/お預入れ/残高照会

※三菱UFJ銀行のATMでお振込みの場合は、他行利用手数料が必要となります。
※お預入れは名古屋銀行・愛知銀行・百五銀行のATMでご利用いただけます。

お振込みの場合は、別途所定の振込手数料が必要となります。

●キャッシュカードサービス等に関するご連絡先

内容	電話番号	受付時間
<ご利用停止の受付> ・キャッシュカード・選帳・証書・届出印の紛失、盗難時 ・インターネットバンキングの不正使用時	0120-69-5416※	24時間365日
<キャッシュカードサービスのご案内> ・サービス時間 ・ご利用手数料 ・ご利用可能なATM	海外からのご利用等、フリーダイヤルがご利用いただけず場合は、058-266-2678(通話料有料)	

●各種お問い合わせ先

内容	電話番号	受付時間
①商品・サービス・キャンペーン	0120-50-8616※	①月曜日～金曜日……………9:00～19:00 土曜日・日曜日……………9:00～17:00 (祝日および12/31～1/3を除く)
②ローン・年金・Jダイレクト(Jダイレクトヘルプデスク)		②③月曜日～金曜日……………9:00～17:00 ④⑥(祝日および12/31～1/3を除く)
③中小企業のお客さまのご返済		⑤月曜日～金曜日……………9:00～17:00 土曜日・日曜日・祝日……………10:00～17:00 (12/31～1/3の年末年始および年末年始に接する土・日を除く)
④Biz-Jダイレクト・EBサービス・じゅうろくでんさいサービス	0120-126-016※	
⑤資産運用・金融商品仲介	0120-438-016※	
⑥当行へのご意見・ご要望「お客さま相談室」	058-265-2111(代表)(通話料有料)	

●指定紛争解決機関

銀行に関するご相談・ご照会・ご意見・苦情の受付窓口

【当行が契約している銀行法上の指定紛争解決機関】一般社団法人全国銀行協会
連絡先: 全国銀行協会相談室
電話番号: 0570-017109 または 03-5252-3772 (通話料有料)
受付時間: 月曜日～金曜日…9:00～17:00(祝日および銀行の休業日を除く)

※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。



発行: 株式会社 十六銀行 経営企画部ブランド戦略室
岐阜市神田町8丁目26 TEL(058)265-2111(代)
2018年6月発行

